

三 国 英 雄 記

其の二
青 樂 天

劉備玄德

三国志の中心人物 劉備玄德を紹介。

劉備玄德 (161 ~ 223 6月10日)

涿郡涿県 (現在の河北省保定市涿州市) 出身。讀書を好まず、言葉は拙く、人にへいだし、喜怒の感も少く、身をたせなかった。身長は173cm、腕が月夜に届くほど、耳が非常に大きかった。前漢の第6代 景帝の子孫の劉貞の末裔だといふ。しかし劉備の家は貧しく、母を失うまで貧乏生活をしていく。昔の古くは、劉羽 (行か記載) と張飛 (行か記載)、義兄弟の約束で、(桃園の誓い) 礼儀をとり、兄弟を養った。その後、車云、張飛、呂布 (行か記載) や曹操 (行か記載) などに争いながら、天才軍師 諸葛亮を得る。礼儀を重んじ、同盟を破たるに以て、劉羽は殺され、そのかたき、自ら大軍を率えたが、張飛が部下に殺され、さらに戦いも負け、白帝城にたげ、礼儀 諸葛亮の後、のてを言ひ、世を去る。63。